

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市社会教育委員会議（第1回）		
事務局 (担当課)		生涯学習課 電話042-769-8287（直通）		
開催日時		令和7年6月10日（火） 午前9時30分～午前11時10分		
開催場所		相模原市民会館2階第2中会議室		
出席者	委員	13人（別紙のとおり）		
	その他	0人		
	事務局	9人（生涯学習部長、外8人）		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題 等		1 生涯学習部長あいさつ 2 議長あいさつ 3 議題 （1）副議長選出 （2）相模原市社会教育委員会議研究調査報告書に関する活動事例ヒアリングについて （3）研究調査について（第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会に関連して） 4 その他 議長報告事項 神奈川県社会教育委員連絡協議会理事会ほか 事務局報告事項 博物館プラネタリウムリニューアルオープン内覧会ほか		

議 事 の 要 旨

1 生涯学習部長あいさつ

2 議長あいさつ

3 議題

(1) 副議長選出

(秦野議長)

・社会教育委員の正副議長の選出につきましては、相模原市社会教育委員会議規則第2条により、委員の互選で定めることとなっております。

立候補及び推薦はありますか。

(中村委員)

・副議長は相模原市公民館連絡協議会から選出されている、伊藤委員を推薦する。

(秦野議長)

・副議長に伊藤委員を推薦したい旨発言がありました。他にご意見ありますか。

(全委員)

・反対意見なし。

・全員賛成

(秦野議長)

・続いての議題ですが、開催通知では、「(2) 活動事例ヒアリング」、「(3) 研究調査について」の順でご案内しましたが、全体進行及び関連性から「(3) 研究調査について」を繰り上げたいと存じますが如何でしょうか。

(全委員)

・異議なし

(3) 研究調査について(第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会に関連して)

(秦野議長)

・研究調査(第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会との関連を考慮して)について概要を説明した。

・第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会に参加し、事前研究と大会当日の報告及び考察をまとめて報告書にする。

・5分科会すべてに参加出来ないため、第3分科会、第4分科会及び第5分科会に参加する。

・事前研究のため、3つの分科会のテーマに該当する事例について、委員に関係する3事例をヒアリングし、研究調査報告書の原稿となるようにする。

・渡邊委員は研究大会第1日に全体会のシンポジウムに登壇する。なお、渡邊委員の分科会への参加は自由参加とする。

・永月委員は第4分科会、伊藤委員は第5分科会に参加する。

- ・分科会等の主担当を決定した。

全体会及びシンポジウムは、石川委員及び渡邊委員。第3分科会は若林委員、第4分科会は小林委員及び第5分科会は高橋委員に決定した。

- ・研究調査スケジュール

分科会報告のフォーマットについては、小委員会を立上げ検討し、9月頃開催予定の定例会で決定する。

11月21日研究大会終了後11月30日までに分科会の原稿を事務局に提出し、12月上旬の定例会で最終確認する。

令和7年12月下旬に今期の研究調査報告書を教育長に提出する予定である。

- ・11月20日の分科会会場準備について協力を頂くともあります。

(金子委員)

- ・参加します。

(秦野議長)

- ・小委員会の委員の選任について

石川委員、若林委員、小林委員、高橋委員及び秦野委員に決定した。

分科会報告のフォーマットを検討する。

- ・委員長に石川委員が内定する。

(2) 相模原市社会教育委員会議研究調査報告書に関する活動事例ヒアリングについて

(秦野議長)

- ・活動事例ヒアリング結果について、概要を説明した。

「子育て広場たん」と、「緑のおうち」、「上溝ひだまり」及び「子育て広場はれまえ」が合同で行った「いろいろ 色 あそび」の事例を紹介した。

(長沢委員)

- ・「親子でフィールドウォーク」、「出張ひろば」及び「マタニティ・アートセラピー」の事例を紹介した。

(本橋委員)

- ・相模女子大学と大野南公民館が連携する事業を作り上げるプロセスを紹介した。

大野南公民館振興計画の基本理念の活動基本方針の中に、教育機関との連携を幅広く学習の機会を提供するなど、地域の身近な諸問題を解決するために学び合う機会を作る位置付けがされていた。

お互いに無理のない範囲でスタートすることを共通認識とした。

大学側も学生や教職員に公民館を知ってもらいたい機会であると感じている。また、「さがまちコンソーシアム」では、インターンシップを受け入れする

など多種多様な活動をしているので両者で制度を活用することもよい方向であることが確認された。

学生も公民館とのかかわりが必要であり、継続するために仕組み作りが大切であるので、焦らずに事業を展開していく予定である。

開催する時期としては、公民館事業や学生が携れる時期を相互で模索した結果、秋が事業を展開するうえで最適であるという結論に達した。

今後経過についてお知らせしたい。

(秦野議長)

・成果だけでなく、丁寧なプロセスが他の公民館や他の大学や高校など大学以外の機関との連携でも非常に参考になるのではないかと感じた。

(渡邊委員)

・主体はどこになりますか。

(本橋委員)

・表に出ていくのは学生や教員になります。私自身は橋渡し役です。

・インターンシップ制度の活用をすることもあります。

(中村委員)

・社会教育に関する学生の気づきは意味があると思う。

(金子委員)

・文化協会でも大人側の関りが大切であると考えています。

(永月委員)

・学生も子どもに関われることで大きく成長します。

(伊藤委員)

・公民館も近隣の高校と連携して、多種多様な事業ができる。

(事務局)

・令和7年6月20日（金）午後2時から職員会館4階会議室2において、小林委員が関連する事例発表を桜美林大学の林先生が行いますのでご参加をお願いします。

4 その他

(秦野議長)

以下について、説明と報告

・神奈川県社会教育委員連絡協議会理事会

・第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会研究部会

・第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会に向けた広告協賛金募集活動について

(事務局)

・神奈川県社会教育委員連絡協議会令和6年度研修会報告について

- ・ 博物館プラネタリウムリニューアルオープン内覧会への招待
- ・ 委任状の作成及び支払金口座振替依頼書の作成依頼

以上で、社会教育委員会議第1回定例会を終了します。

秦野議長の挨拶で会議を終了した。

以 上

令和7年度 第1回社会教育委員会議定例会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	永月 徹	相模原市立小学校長会		出席
2	金子 友枝	相模原市文化協会		出席
3	中村 岳彦	相模原市P T A連絡協議会		出席
4	伊藤 孝久	相模原市公民館連絡協議会	副議長	出席
5	安西 信行	相模原市青少年関係団体連絡会		出席
6	長沢 亜希子	こみかる・きっず相模原		出席
7	若林 由美	一般社団法人 こども家族早期発達支援学会事務局長		出席
8	石川 利江	学識経験者（桜美林大学教授）		出席
9	秦野 玲子	学識経験者（RE Learning代表）	議長	出席
10	本橋 明彦	学識経験者（（学）相模女子大学事務局長 （総務担当理事））		出席
11	小林 政美	学識経験者（特定非営利活動法人男女共同参画 さがみはら 副代表理事）		出席
12	高橋 修一	公募		出席
13	渡邊 健一	公募		出席
14	雨宮 健一郎	特定非営利活動法人文化学習協同ネットワーク		欠席